

2023年1月13日

SUBARU 2023年モータースポーツ活動計画について

SUBARU と同社のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル株式会社*1 は、2023年のモータースポーツ活動についての概要を発表しました。



SUBARU BRZ GT300 2022



SUBARU WRX NBR CHALLENGE 2023

■SUPER GT シリーズ

2023年シーズンも引き続きGT300クラスに、SUBARU BRZ GT300で参戦します。

チーム総監督は小澤正弘、チーム運営は「R&D SPORT*2」が担当し、R&D SPORTの澤田稔が監督を務めます。ドライバーは井口卓人選手と山内英輝選手の2名体制で臨みます。

2023年シーズンからのカーボンニュートラル燃料でのレース開催に向け、カーボンニュートラル燃料対応のエンジン開発を進めています。また、水平対向エンジンの信頼性向上、空力性能向上、コーナーリング性能向上を織り込み、環境性能と走行性能を併せ持つ強いSUBARU BRZで王座奪還を目指します。

■ニュルブルクリンク 24時間耐久レース

第51回ニュルブルクリンク 24時間耐久レース(ドイツ・プファルツ州アイフェル、5月20日~21日)のSP4T*3クラスに、SUBARU WRX NBR CHALLENGEで参戦します。

昨年に引き続き、チーム総監督は辰己英治、監督は沢田拓也、ドライバーはカルロ・ヴァンダム選手(オランダ)、ティム・シュリック選手(ドイツ)、山内英輝選手(日本)、井口卓人選手(日本)、の4名で臨みます。

2023年は、WRX S4をベースとした新型車両での挑戦になります。新型車両の開発はプロジェクトリーダーの渋谷直樹が務めます。

FA24型 2.4リッター直噴ターボエンジンとスバルグローバルプラットフォームを搭載した新型車両で、初参戦となるSP4Tクラスでの優勝を目指します。

また、今回も全国のSUBARU販売店から選抜された精鋭8名のメカニックがチームに参加し、レースをサポートします。販売店メカニックの海外自動車レースへの参加は、メカニックの技術力向上により、お客様にカーライフの「安心と楽しさ」をお届けすることを目的に1990年より継続しています。

■全日本ラリー選手権

2023年シーズンは、昨年までの新井敏弘選手、鎌田卓麻選手のチーム運営サポートに加え、車両開発サポートも行い、新井敏弘選手、鎌田卓麻選手とともに「SUBARU RALLY CHALLENGE」チームとして新たな体制で全日本ラリーに参戦します。

車両は、レギュレーションの改定により、新たにWRX S4をベースにした車両をこれまで以上の軽量化を狙って開発を進めており、2023年シーズン途中の投入を予定しています。

FA24型 2.4リッター直噴ターボエンジン、スバルグローバルプラットフォームによるベース車の高いポテンシャルを発揮し、シーズンを通してクラス上位入賞を狙います。

■TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

昨年同様に、STI がサービスチームを派遣し、SUBARU BRZ Cup Car Basic で参戦するユーザーのサポートを行います。

■スーパー耐久シリーズ

2023 年シーズンも引き続き「Team SDA*4 Engineering」で、スーパー耐久シリーズにチャレンジします。SUBARU の参戦チームおよびレース用車両の開発・製作には、SUBARU 技術本部の社員が参画。チーム監督は本井雅人、ドライバーは井口卓人選手、山内英輝選手と、SUBARU エンジニアの廣田光一の 3 名で挑みます。

参戦車両は SUBARU BRZ をベースとしたカーボンニュートラル燃料を使用する車両で、SUBARU 航空宇宙カンパニーと協力して採用した、再生カーボンを使用したパーツの追加検討や、アイサイトを中心とした先進安全装備をレース現場で鍛えていくなど、シーズンを通して様々な挑戦を続けます。

*1: スバルテクニカインターナショナル株式会社(代表: 平岡泰雄、東京都三鷹市、略称: STI)

*2: 株式会社アールアンドデースポーツ(代表: 本島伸次、神奈川県平塚市)

*3: 排気量 2,000cc~2,600cc のターボエンジン搭載車のクラス

*4: スバル ドライビング アカデミー: SUBARU エンジニアの運転スキルと評価能力を高める人材育成の取り組み
詳しくは[こちら](#)